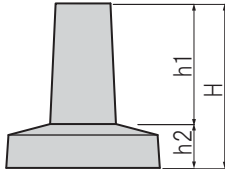


特長

- 1 基礎のバリエーションが多く、パネルや架台の仕様や配置によって、現場に最適な基礎の選択が可能です。
- 2 埋設する(置く)だけで施工が完了するため養生を必要とせず、架台やパネルの取り付け作業をおこなうことができます。
- 3 工期短縮、人工の削減が可能であり、また使用期間終了後の撤去も容易におこなえます。

標準図

■正面図



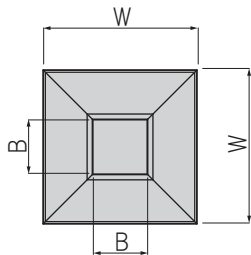
規格(mm)

製品名	全高(H)	柱高(h1)	フーチング高(h2)	天端幅(B)	底版幅(w)
マルチベースSBD型	750	550	200	250	700
マルチベースSBD II型	950	750	200	250	700
マルチベースSB型	750	550	200	340	850
マルチベースSB II型	950	750	200	300	850

現場状況、設計荷重によって基礎を組み合わせて使用できます。

上記規格以外、マルチベースA～C II型(P139)でも対応可能です。(要構造計算)

■平面図



適用

設計用荷重は下記算定式を適用しています。

風圧荷重W(N) $W = C_w \times q \times A_w$ C_w : 風力係数 q : 設計用速度圧(N/m²) A_w : 受風面積(m²)

設計用速度圧q(N/m²) $q = 0.6 \times V_0^2 \times E \times I$ V_0 : 設計用基準風速(m/sec) E : 環境係数 I : 用途係数

設計用基準風速V₀(m/sec) 建築基準法施行令第87条第2項に基づく(平成12年建設省告示第1454号に規定)

環境係数E $E = E_r^2 \times G_f$ E_r : 平均風速高さ方向の分布を表す係数 G_f : ガスト影響係数 地表面粗度区分: III

用途係数I 通常の太陽光発電システム

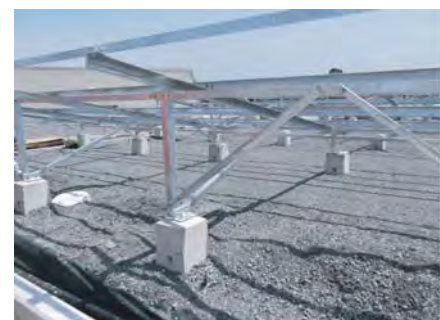
適用基準・指針及び参考図書: 太陽電池アレイ用支持物設計標準(JIS C 8955-2011)

建築基準法 同施行令 告示等

太陽光発電システムの設計と施工(太陽光発電協会)

建築基礎構造設計指針 小規模建築物基礎設計指針(日本建築学会)

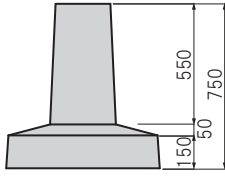
道路橋示方書 IV下部構造編(日本道路協会)



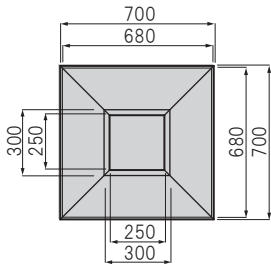
標準図

SBD型 288kg

■正面図

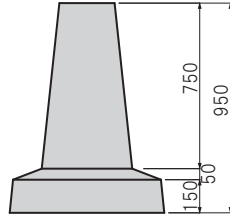


■平面図

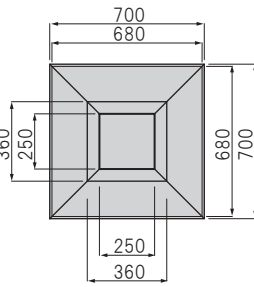


SBD II型 353kg

■正面図

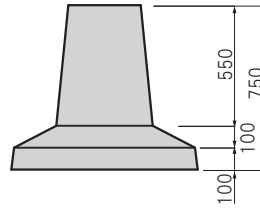


■平面図

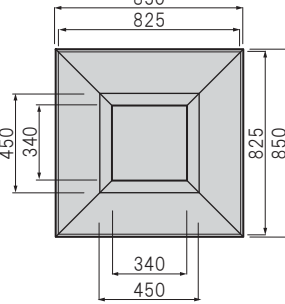


SB型 441kg

■正面図

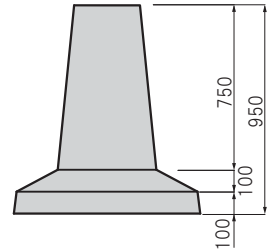


■平面図

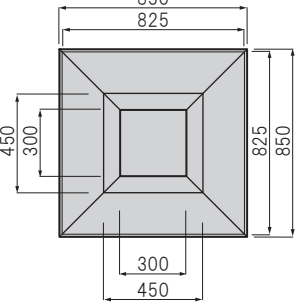


SB II型 497kg

■正面図



■平面図



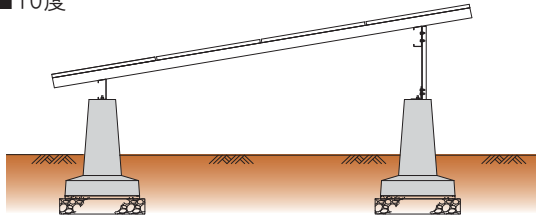
構造検討用基礎参考重量(kg)

製品名	構造計算重量(単位体積重量:コンクリート2300kg ±1800kg)				
	製品重量	根入300mm	根入400mm	根入500mm	根入600mm
マルチベースSBD型	288	349	410	480	552
マルチベースSBD II型	353	445	513	583	650
マルチベースSB型	441	600	700	808	912
マルチベースSB II型	497	634	728	855	960

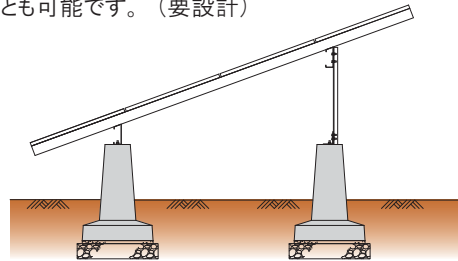
施工図

※架台との取付け部は、あと施工アンカーを使用するため、自由な位置に施工できます。(位置についてはアンカーの検討を十分におこなってください。) 弊社指定の架台を使用することも可能です。(要設計)

■10度



■20度



■ソーラーパネル傾斜角度 10度~20度 コンクリートまたはアスファルト舗装の上については置き基礎(アンカーボルト固定)、未舗装の場合は埋設基礎としてください。地盤勾配の急な場所、軟弱な地盤の土地については施工できません。事前に風圧等の検討を十分におこなって御使用願います。

